

当社における健康経営への取組み

1. 健康経営に取り組む目的

SOMPOホールディングスグループの経営理念「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献する」を実現するためには、社員一人ひとりが健康で、誠実さ、高い倫理観、高い職業意識を持ったプロフェッショナル集団であることが不可欠である。また、企業の持続的な成長には、風通しの良い職場、やりがい、従業員と家族の健康などを基盤とした活力のある企業風土が極めて重要である。これらを実現するために、健康経営に取り組む、社員の健康保持・増進を図る。

2. 推進体制

以下の体制で推進し、取組みの進捗状況を年2回、経営会議等へ報告する。

推進最高責任者	代表取締役社長 布施 康
担当部署	総合企画部 経営企画グループ
担当	経営企画グループ担当：4名 健康づくり担当者：3名（事業場ごとに選任） 産業保健スタッフ：2名（業務委託者）
産業医	1名

3. 従業員の健康課題

当社では、リスクコンサルティングやサイバーセキュリティの各分野において、経験豊富な専門人材を中途採用していることもあり、生活習慣病の発症リスクの高まる中高年層や、その手前の35歳以上の従業員の占める割合が高い。

従業員の生活習慣に関する調査結果では、「睡眠で休養が十分にとれていない」割合が全体の40%となっており、コンサルティングの納期前や、業務集中時の長時間労働により、心身両面で疾病発症リスクを高める「夜型生活」の職員が多くなっていると考えられる。

上記を踏まえ、当社では、「生活習慣病予防・重症化予防」、「メンタルヘルス不調の予防」に加え、上記に共通する原因となる「長時間労働の是正」を従業員の主たる健康課題として、その対策に取り組む。

4. 取組み内容と目標

(1) 生活習慣病予防・重症化予防

①健康診断の実施

- ・目標：定期健康診断の受診率100%

②保健指導の実施（健康保険組合と連携して実施）

- ・対象者：下表のとおり
- ・目標：参加率100%

保健指導の内容	対象者
特定保健指導	40歳以上で、厚生労働省が定める階層化基準に合致する者
受診勧奨	35歳以上で、血糖が有所見（HbA1c 6以上、または空腹時血糖 126以上）、かつ糖尿病関連の服薬がない者

服薬コントロール不良者重症化予防	35歳以上で、血糖が有所見（HbA1c 7以上、または空腹時血糖 130以上）、かつ糖尿病関連で服薬中の者
糖尿病性腎症重症化予防	35歳以上で、血糖が有所見（HbA1c 7以上、または空腹時血糖 130以上）、かつ腎機能が有所見（尿たんぱく 2+以上、またはeGFR 50未満）の者

（2）メンタルヘルス対策

①ラインケア研修、セルフケア研修の実施

- ・対象者：ラインケア研修は管理職、セルフケア研修は全従業員
- ・目標：それぞれ年1回（ラインケア研修は、新任者を対象に実施）

②ストレスチェックおよび組織診断の実施

- ・目標：ストレスチェック受検率100%

③メンタルヘルス不調者への対応

- ・対象者：ストレスチェックで把握された高ストレス者、およびメンタルヘルス不調を訴えた者
- ・目標：上記①②の取組みも含め、メンタルヘルス不調による休職者数1%未満

（3）長時間労働の是正

時間外労働管理の強化、休暇取得に関し、部門別に計画を策定・推進する。

① 産業医面談基準の見直し（月間80時間超⇒月60時間超 OR 3ヶ月通算170時間以上）

- ・目標：面談対象者5名以下

②休暇取得

- ・目標：必須取得休暇および年次有給休暇5日以上の取得（付与日数10日以上）
- ・土日と祝日、若しくは連続した祝日に有給休暇を組み合わせ、長期休暇の取得を推奨する。

5. 取組みの成果

（1）2017年度以降の実績

	2017年度	2018年度	2019年度
1. 生活習慣病予防			
定期健康診断受診率	100.0%	100.0%	—
特定保健指導参加率	88.8%	90.0%	—
2. メンタルヘルス対策			
ストレスチェック受検率	94.9%	91.0%	97.9%
メンタル不調による休職者割合	1.8%	1.0%	—
3. 時間外労働の削減			
法定外労働240時間／年の達成率	61.5%	59.0%	—
4. 休暇取得			
取得必須休暇の完全取得	95.4%	98.4%	—
年次有給休暇10日以上の取得者率	57.3%	44.1%	—

(2) 2019年度におけるメンタルヘルス研修実施状況

ラインケア研修：2019年5月 実施済

セルフケア研修：2019年7月 実施済

以 上